

各位

三神地域農業指導者連絡会作物部会  
三神農業振興センター

「稲作情報（第5号）」について（送付）  
このことについて、下記のとおり送付しますので、業務の参考にして下さい。

## 稲・大豆作情報（第5号）

### 1. 情報田生育調査結果について

#### (1) 耕種概要

品種名	夢しずく (上峰町)	さがびより (みやき町)	ヒヨクモチ (神崎市)
移植日(月日)	6月11日 (平年：6/9)	6月18日 (平年：6/20)	6月23日 (平年：6/19)
栽植密度(株/m <sup>2</sup> )	15.6 (52.1株/坪)	16.8 (55.9株/坪)	18.7 (62.2株/坪)

#### (2) 調査結果（夢しずく8月1日、さがびより・ヒヨクモチ8月2日現在）

品種名	夢しずく	さがびより	ヒヨクモチ
草丈(cm)	92.0	73.0	56.3
平年値(平年比)	88.5(104)	70.5(104)	62.4(90)
莖数(本/m <sup>2</sup> )	363	472	694
平年値(平年比)	323(113)	491(96)	687(101)
葉齢(L)	12.5	12.4	12.5
平年値(平年差)	12.3(+0.2)	12.4(0.0)	12.4(+0.1)
葉色(SPAD値)	36.0	38.7	39.1
平年値(平年差)	37.9(-2.0)	41.0(-2.3)	38.7(+0.3)

#### 概況

気象（7月27日～8月3日までの期間）

【平均気温】平年より2.0℃高い。

【日照時間】平年比123%と長い。

【降水量】平年比15%と少ない。

生育（平年と比較して）

草丈：「夢しずく」「さがびより」はやや高く、「ヒヨクモチ」は低い。

莖数：「夢しずく」は多く、「さがびより」はやや少なく、「ヒヨクモチ」は平年並み。

葉齢：「夢しずく」はやや進んでおり、「さがびより」「ヒヨクモチ」は平年並み。

幼穂長：「夢しずく」で40mm

留意点

「さがびより」「ヒヨクモチ」は移植後の降雨による影響で、生育停滞がみられたが、梅雨明け後生育は回復してきている。

注1)「夢しずく、さがびより」の平年値は、過去7か年の数値を7月19日又は20日に換算し、そのうち最高、最低を除いた5か年の平均値。

「ヒヨクモチ」はR1,2年データ欠損のため、平年値はH28～R4(R1,2除く)5か年の平均値。

注2)ラウンドの都合で小数点以下が一致しない場合がある。

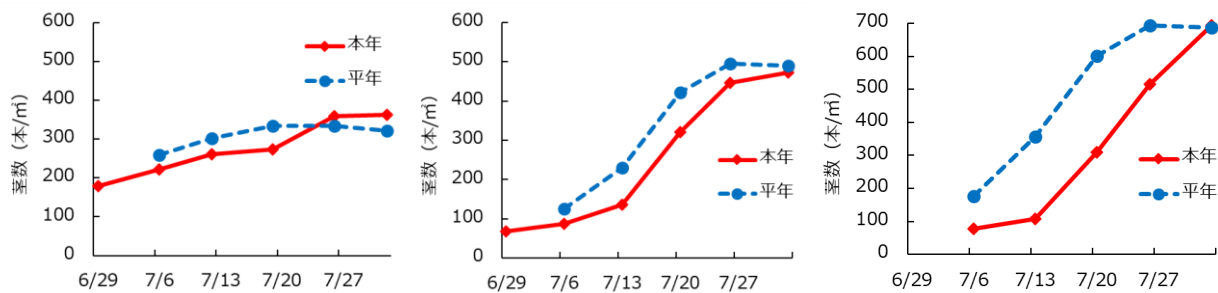


図 茎数の推移 (左：夢しずく、中：さがびより、右：ヒヨクモチ)

農業試験研究センター米づくり情報5号 7月31日(抜粋)

移植日	項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
6月19日	夢しずく	本年	74.3	438	12.1	41.7	[気象] 7月24日～30日まで ◆平均気温…平年より1.3℃高い ◆日照時間…長い(平年比137%) ◆降水量…少ない(平年比36%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」「さがびより」で平年並み、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」で低い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒヨクモチ」でやや多い。「ヒノヒカリ」「さがびより」で少ない。 ◆葉齢 「ヒノヒカリ」でやや遅れており、他の品種でやや進んでいる。 ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」で高く、「ヒノヒカリ」でやや高く、「さがびより」で低く、「ヒヨクモチ」ではやや低い。
		平年	74.0	416	11.6	38.5	
		平年比(差)	100	105	+0.5	+3.2	
	ヒノヒカリ	本年	60.4	507	11.3	41.6	
平年		67.8	543	11.7	39.5		
平年比(差)		89	93	-0.4	+2.1		
6月20日	さがびより	本年	58.7	463	11.6	36.5	
		平年	59.4	521	11.2	40.9	
		平年比(差)	99	89	+0.4	-4.4	
	ヒヨクモチ	本年	56.0	837	12.7	39.7	
平年		59.4	811	12.2	40.4		
平年比(差)		94	103	+0.5	-0.7		
留意点	○「夢しずく」は幼穂形成期を迎えており、穂肥診断に基づき追肥を適正に施用する。 ○中干しが終わった圃場については、今後は間断灌水を行う。 ○病気や害虫の発生に注意する。農業技術防除センターの情報を参考にするとともに、圃場調査を実施して的確な防除を行う。						

## 2. 普通期水稻の今後の管理について

梅雨明け後は、多日照、少雨条件で、生育は平年並み近くまで回復している。今後は、生育ステージや台風等の気象予報に応じた適切な水管理を行う。中晩生品種についても幼穂形成期を迎えるため、診断基準に従い、遅れないように穂肥を施用する。

### (1) 水管理

#### ①「夢しずく」の水管理

- ・「夢しずく」は幼穂形成期を迎えているため、強い水分ストレスを与えないよう間断灌水を実施し、湿潤状態を保つ。

#### ②「ヒノヒカリ」・「さがびより」・「天使の詩」・「ヒヨクモチ」の水管理

- ・「ヒノヒカリ」・「さがびより」・「天使の詩」ではまもなく、「ヒヨクモチ」では8月中旬頃に幼穂形成期を迎える。

- 中干し実施していない圃場は、幼穂形成期までに軽めの中干しを実施する。中干しは、土に軽い亀裂が入り足跡がわずかにつく程度とする。
- 中干し後は、間断灌水を行う。  
なお、高温・乾燥条件で推移しているため過度の中干しとなり、ひび割れ・白乾している圃場が散見される。土壌が白乾してしまった圃場は、急に水を溜めると根の活力が低下し、下葉の枯れを助長するため、まず走り水を行った後に間断灌水とする。

### ③台風対策

- 台風6号が8/7以降に九州に接近する恐れがあり、進路によっては水稻への影響が懸念される。

#### <台風通過前対策>

- 風による稲体の動揺（損傷）を少なくするために深水管理を行う。  
※特に幼穂形成期～穂ばらみ期においては、茎葉の繁茂度が高く水分の蒸散量が著しい時期であるので、必ず深水・湛水を行う。

#### <台風通過後対策>

- 台風通過後は必ず新しい水と入れ替え、こまめに間断灌水を行うことで水稻の根の機能維持及び生育回復に努める。
- 台風通過後は受光体制が乱れ、ウンカや紋枯病が発生しやすくなるため、病害虫の発生状況に十分注意し、場合によっては薬剤防除を実施する。

## (2) 穂肥

- 「ヒノヒカリ」、「さがびより」は8月上旬頃から幼穂形成期（幼穂長 1 mm程度の時期）を迎える見込みである。
  - 必ず「穂肥診断（草丈・葉色・幼穂長の確認）」を実施し、表1～4を参考に施用時期が遅れないように穂肥を施用する。
- ※隣接圃場が「ヒヨクモチ」だと葉色が著しく淡く見えるので留意する。

### ①「ヒノヒカリ」の穂肥診断基準

表1 ヒノヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	22 ~ 20	19 ~ 18	18 ~ 16	16 ~ 15
主稈の幼穂 (mm)	1 ~ 2	3 ~ 5	5 ~ 15	15 ~ 80

◎穂肥時期の目安

表2 ヒノヒカリの穂肥診断基準

幼穂 1mm の時の草丈	葉色	葉色版群落葉色	SPAD	幼穂長 (mm)	BB602 施用量 (kg/10a)
80cm 以下	淡い	3.0 以下	34 以下	1 ~ 2	20kg
	<b>標準</b>	<b>3.0 ~ 3.5</b>	<b>34 ~ 38</b>	<b>3 ~ 5</b>	<b>20kg</b>
	やや濃い	3.5 ~ 3.8	38 ~ 39	5 ~ 15	15kg
	濃い	3.8 以上	39 以上	15 ~ 30	施用しない
80cm 以上	淡い	3.0 以下	34 以下	1 ~ 2	15kg
	標準	3.0 ~ 3.5	34 ~ 38	3 ~ 5	15kg
	やや濃い	3.5 ~ 3.8	38 ~ 39	5 ~ 15	施用しない
	濃い	3.8 以上	39 以上	15 ~ 30	施用しない

※穂肥時に葉色が淡い～薄い状態で、幼穂長が5～15 mmだった場合、2～5割減肥する。  
 幼穂長 30 mm以上の場合は、食味の低下が懸念されるため穂肥は施用しない。

②「さがびより」の穂肥判断基準

表3 さがびよりの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	22 ～ 20	19 ～ 18	18 ～ 16	16 ～ 15
主稈の幼穂長 (mm)	1 ～ 2	3 ～ 5	5 ～ 15	15 ～ 80

穂肥時期の目安

表4 さがびよりの穂肥診断基準

幼穂 1mm の時の草丈	葉 色	葉色版群落葉色	SPAD	幼 穂 長 (mm)	BB602 の施用量 (k g/10a)
75cm 以下	淡い	2.5 以下	34 以下	5	15 k g
	<b>標準</b>	<b>3.0 ～ 3.5</b>	<b>34 ～ 38</b>	<b>10</b>	<b>10 k g</b>
	やや濃い	3.5 ～ 3.8	38 ～ 39	15	7.5 k g
	濃い	3.8 以上	39 以上	施用しない	
75cm ～ 80cm	淡い	3.0 以下	34 以下	10 ～ 15	10 k g
	標準～濃い	3.0 以上	37以上	施用しない	
80cm 以上	施用しない				

※早くても幼穂長が **5 mm** になっていることを確認して穂肥を施用する。

※葉色が濃い圃場や幼穂長が 15 mm 以上になっている圃場での穂肥施用は、食味低下が懸念されるため、穂肥は施用しない。

注1) 早すぎる穂肥 → 止葉が伸び、倒れやすく、籾数が多すぎて登熟が悪くなる  
 遅すぎる穂肥 → 籾数が少なく、減収し、米の蛋白含量が高く食味が落ちる

注2) 多すぎる穂肥 → 倒れやすく、籾数が多く登熟が悪く、蛋白含量が高く食味が落ちる  
 少なすぎる穂肥 → 籾数が少なく、減収し、米がやせて品質が落ちる

注3) 中干し直後に葉色が淡く草丈が低い圃場についても、中干しの乾土効果（土壌中の有機体窒素が分解によって水稻に吸収される形になる）により、急激に葉色が濃くなる場合があるため、圃場の状況に合わせて散布する。

### (3) 病害虫防除について

#### ①海外飛来性害虫

- ・梅雨の前線に伴うトビロウンカ飛来（6/30～7/13）が県西部で確認されている。
- ・一部圃場ではウンカ類の幼虫（セジロウンカ中心）が確認されている。

※本年は多発生条件となっており、今後急増する場合もあるため、発生状況に注意し、適期防除に努める。

防除適期は「幼虫ふ化揃い期」

- ・今後、発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認し、適期防除に努める。

佐賀県 農業技術防除センター

<要防除水準>  
7月下旬～8月上旬にトビロウンカの成虫または幼虫が10株あたり2頭以上確認される場合は幼虫ふ化揃い期に防除しましょう。

防除適期②  
8/20～8/26頃

防除適期③  
9/20～9/26頃  
農薬の使用晩限に注意

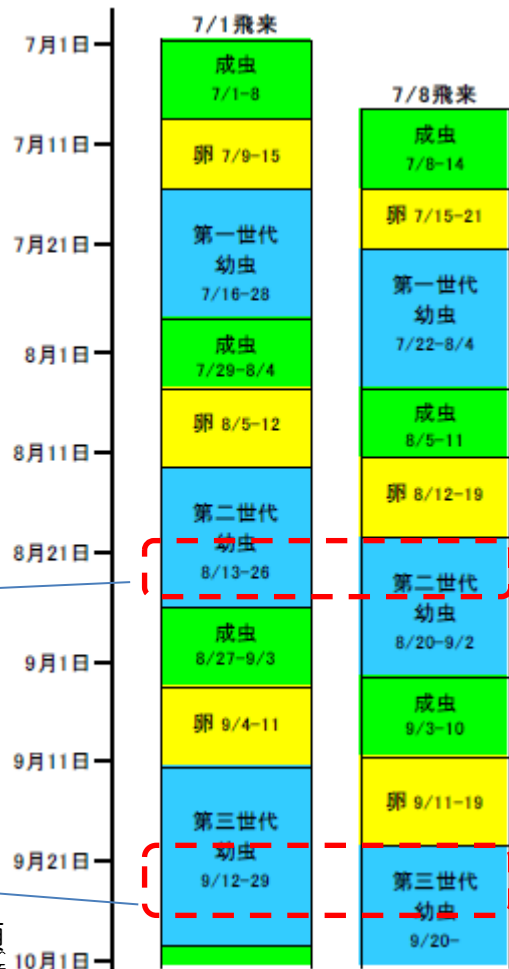


図 トビロウンカの発生予測  
第2版、2023年7月25日作成

#### ②いもち病

- ・本田で新たな病斑の発生が認められた防除を検討する。
- ・補植用の苗を圃場に放置すると、いもち病の温床となるので早急に撤去する。

#### ③紋枯病

- ・高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が発生しやすくなるため注意する。
- ・病斑を確認した場合は、病斑が上位葉の葉鞘に進展（垂直進展）する時期に防除を検討する。（液剤・粉剤の場合は、出穂前10～20日間を目安）

### (4) 除草作業

- ・除草剤が散布できなかった圃場や除草剤処理後に田面が露出した圃場などでは、除草剤の効果が低下したため、雑草の発生が見られる。
- ・このような圃場で、放置するとヒエや広葉（コナギ・アゼナ）が繁茂し、薬剤による雑草防除が困難となるため、中後期除草剤との体系処理を検討する。
- ・除草剤の散布時期については、農薬の使用基準を順守し、収穫前日数に注意する。

## 大豆の今後の管理について

ほとんどの圃場で播種作業は終了しているが、播種期が6月下旬～7月下旬にかけて幅広いため、播種期により圃場間で生育格差が見られる。

7月15日播種で本葉2～3葉程度、7月20日頃播種で本葉1～2葉程度となっている。播種時の圃場の水分条件、降雨の有無により生育が異なる。

高温乾燥条件が続き、土壌の乾燥が進んでいるため、暗渠排水の栓を閉めるなどして土壌水分の確保を図る。

### 1) 今後の天候について

参考) 週間天気予報 (佐賀県8月3日 17時時点 佐賀地方気象台より)

日付	今夜 03日(木)	明日 04日(金)	明後日 05日(土)	06日(日)	07日(月)	08日(火)	09日(水)	10日(木)
佐賀県	曇後晴 	晴時々曇 	晴後曇 	曇 	曇 	曇 	曇 	曇時々晴 
降水確率(%)	-/-/10	0/0/20/10	30	40	40	40	40	30
信頼度	-	-	-	B	B	C	C	B
佐賀 最低/最高(℃)	-/-	27/37	27/36	29/35	28/34	28/33	26/32	26/33

### 2) 除草剤について

#### ○播種後処理

- 播種直後に土壌処理剤を散布する。難防除雑草のヒロハフウリンホオズキ、ホソアオゲイトウの発生が多い圃場ではフルミオ、ラクサー乳剤の除草効果が高い。

#### ○生育期茎葉処理

- イネ科の残草が多い場合はポルトフロアブル、ナブ乳剤、セレクト乳剤。
- 広葉の残草が多い場合は大豆バサグラン、アタックショット乳剤等。大豆の2葉期～開花前まで

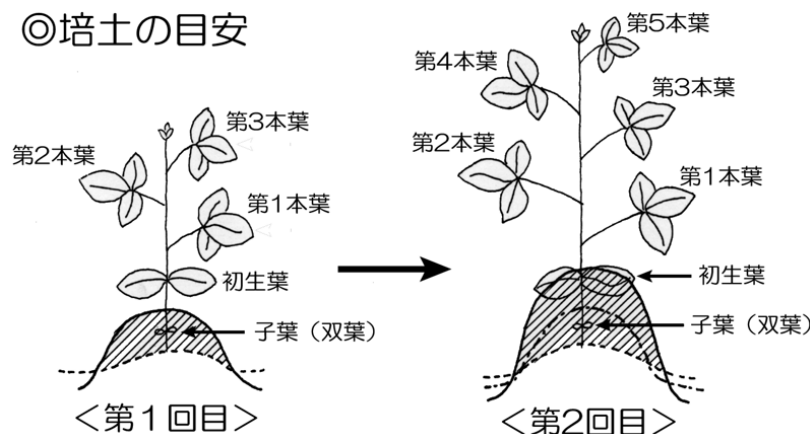
### 3) 中耕・培土の実施

- 本葉が3枚開いているのを確認したら、子葉が隠れる程度まで1回目の培土を行う。
- 本葉が5枚開いているのを確認したら、初生葉（子葉の上の葉）が隠れる程度まで2回目の培土を行う。
- 特に、降雨等で除草剤の散布ができなかった圃場では、早めの中耕培土で雑草対策を行う。

※本年は高温、少雨の影響で圃場が干ばつ傾向となっている。

気温が高い日中に培土すると、土壌水分の蒸散を助長し、乾燥害を生じる恐れがあるため、作業は夕方以降が望ましい。

#### ◎培土の目安



# 令和5年産水稲生育期間気象グラフ (アメダス：佐賀)

三神農業振興センター

